

## 平成18年第2回（6月）定例会 一般質問通告表

順	質 問 事 項	質 問 者
1	<p>◎ 高野施政のほころびから見放された過疎・へき地の怒りと悲鳴を聞け。18年度予算を総括する</p> <p>(1) 予算配分、箇所は偏っていないか</p> <p>(2) 高野構想から漏れた辺地(へき地)、過疎地は切り捨てになっていないか</p> <p>(3) 社会資本のバランス、充実度(成熟度)の均衡は崩れていないか</p> <p style="padding-left: 20px;">① 市長の出身地(旧真野町)の18・19・20年度に、事業計画が集中して異常突出しているが、どんな意味があるのか</p> <p style="padding-left: 20px;">② 旧真野町の一般会計、企業会計の合計について</p> <p style="padding-left: 20px;">③ 合併特例債事業で至急性を認めた根拠について (旧真野町の事業推進順位が全てAランクの理由)</p> <p>(4) 百年の河清を待つ弱者の辺地、過疎地にどのように光を当てるか(平場との格差是正にどんな政策があるか)</p> <p style="padding-left: 20px;">県道でありながら全国に類を見ない2m足らずの幅員しかない違法県道の改良は、やる気があるのか(格差是正について)</p> <p style="padding-left: 20px;">① 県道両津港赤玉線に着手する糸口は見つかったか(これこそ合特債でみてやれば格差是正)</p> <p style="padding-left: 20px;">② 政治家としての誠意、思いやりが問われると思うが、市長の行動について</p> <p>(5) イントラネットの整備の現況と防災無線の必要性について</p> <p style="padding-left: 20px;">① 財政不足と社会資本の整備の遅れを考えると、果して防災無線は必要か</p> <p style="padding-left: 20px;">② 3月議会の総務文教常任委員長報告で、防災行政無線整備事業は根本的に見直す必要があるとの意見を付していたが、それでも市長は防災無線計画を実施するのか</p> <p style="padding-left: 40px;">事業費の約12億は、至急性の高い事業(例えば相川のおけさ会館の新設)を考えるべきだ。観光立島の宣伝を忘れるな</p>	大澤祐治郎
2	<p>1 合併3年で噴出した諸問題に見られる市長の政治姿勢について</p> <p style="padding-left: 20px;">(1) 拙速、無責任合併を露呈した「佐町第35号」(平成16年1月28日付け)を無視した平成18年度予算に見られる市長の責任について</p> <p style="padding-left: 20px;">(2) 「新市建設計画」大幅削減は、合併協議会の無定見に原因があるが、「地域審議会」への説明には一片の誠実さも感じられない。責任者としての認識欠如ではないか</p> <p>2 市民に対する愛情が欠落した最近の施策と、市長・助役の責任について</p> <p style="padding-left: 20px;">(1) 独り暮らしの老人の緊急通報システムの有料化による弱者切り捨て政策で生じた事件後の反省・検討は進められているのか</p> <p style="padding-left: 20px;">(2) 国民健康保険の「資格証」の発行には一定の調査が必要のはずだが、行われているのか</p>	加賀博昭

順	質 問 事 項	質 問 者
2	<p>(3) 平成17年3月議会の「一般質問資料事件」の「公開質問」の回答（平成18年4月7日付け）では、「資料を渡した職員は確認できない」と回答しているが、それでは市の責任はないことになる。大竹助役、大川課長の出張は成り立たないことになるが、見解を質す</p> <p>3 理念なき機構改革のもたらした障害について</p> <p>(1) 平成18年4月の診療報酬等の改定で、病院経営が重大な局面を迎えているが、担当部局の情報把握の遅れは、組織上の欠陥ではないか</p> <p>(2) 本年7月以降に備えての佐渡総合病院6階病棟の「療養型病室」の「特殊病室」転換で、患者への影響と市の対応について</p> <p>4 地方分権時代の政策立案と実践力から見た佐渡市の弱点について</p> <p>(1) 環境基本条例を踏まえた政策は、一貫性をもって強力に進める必要があると思うが、内部検討はどうか</p> <p>(2) 観光資源開発は、住民と力を合わせる事が大事だが、企画は市の仕事との認識はあるのか</p> <p>(3) 観光スポットに、広大なアサリ畑の開発は有望で、条件も十分。地域再生事業で検討すべきではないか</p> <p>(4) ガメラレーダーの設置に対する市長の認識には問題があるが、さらに戦略的対応にも問題がある</p> <p>(5) 佐渡汽船問題について、三者秘密協議を進めているが、市の基本的な主張を議会と相談せずに、結果の報告で解決できると思うのか</p> <p>(6) 合併時の人件費問題を「行革」の主眼であるかの議論は無意味で、入札問題で工夫するとか、ダイオキシン水質検査事件の無駄な出費が示すように、職員の資質の向上に工夫をすべきだ</p> <p>(7) 20市で唯一誇れるものに、国保県下一の実績がある。これを後退させてはならない</p>	加賀博昭
3	<p>1 市有財産の適正な維持管理と有効活用について</p> <p>(1) 市有財産の管理が適正に行われているか</p> <p>① 財産台帳の整備状況</p> <p>② 記録と実態との突合</p> <p>③ 登記の有無</p> <p>(2) 合併時の物品の取扱いについて</p> <p>・ 具体例：金井町</p> <p>(3) 指定管理へ移行時の物品の取扱いについて</p> <p>・ 具体例：小木の湯</p> <p>(4) 譲渡・貸付及び売却について（予定）</p> <p>① 直営のもの・指定管理のもの</p> <p>② 物品</p> <p>(5) 支所・学校統廃合に伴う肖像写真、寄贈品等の保管等について</p>	田中文夫

順	質 問 事 項	質 問 者
3	<p>2 精神障害者に対する施策の拡充について</p> <p>(1) 現状についてとその評価</p> <p>① 対象者数（病名別内訳と入院外来数・手帳所持数・年金受給数・被保護者数）</p> <p>② 自助グループ・家族会・市民団体等の組織状況</p> <p>③ 援助職の種類と人数と所属</p> <p>④ 施策の内容と費用</p> <p>(2) 今後の取組みについて</p> <p>① 市の方針と計画について（主体性の確立・独自施策）</p> <p>② 自立支援法の具体的運用例について</p>	田 中 文 夫
4	<p>◎ 未登記道路用地の固定資産税について</p> <p>(1) 去る5月26日に新聞報道された標記の件についての詳細と経緯</p> <p>(2) 5月30日の全員協議会に案件として付議した理由</p> <p>(3) 平成16年9月定例議会及び平成17年9月定例議会の一般質問で、同種の事案について質したときの答弁と、今回報道されるに至った間の関係部局（課・係）の対応</p> <p>(4) 監査段階での調査と監査委員の意見</p>	肥 田 利 夫
5	<p>1 観光産業について</p> <p>(1) 佐渡観光の将来構想が見えていない。県は団塊の世代にターゲットを絞り情報発信をすると決めたが、全国の観光地も同じく誘客の目標を団塊世代に定めており、佐渡として独自色が必要だ。「佐渡のここが魅力的だからこういう人たちに来てもらいたい」という目的を定めたメッセージがない。基本構想作りは官の仕事である。明確な指針を示されたい</p> <p>(2) 佐渡百選を選定したが、百選に指定しただけで保護と活用の方法が見えてこない。例えば、両津地区の「村雨の松」は瀕死の状態にあるが、保護対策が他人任せである。具体的な対策を聞かせていただきたい</p> <p>2 交通体系の問題点</p> <p>(1) 小木航路のあり方協議が関係機関で行われているが、なぜここまで赤字のまま改善されなかったのか、どこに問題があるのか。単年度で8億とも言われる赤字額は現状ペースで見て利用者を何人、航送台数を何台増やすことで解消できるのか具体的な数値を示し説明願いたい。併せて、小木航路の現状維持を前提に、航路の赤字を県・上越市・佐渡市の間で負担協議が行われていると聞くが、生活航路維持とはいえ、私企業で株式を上場する企業に行政が赤字額を負担する根拠を示していただきたい</p> <p>(2) 国際的な原油価格の高騰で国内の石油製品の価格も高騰が続いており、佐渡島民にとって、離島であるがゆえに防衛策が見当たらず耐え切れない状態にまできている。平成15年対比で石油製品の価格上昇が佐渡島民に幾らの負担増を強いているのか、経済活動にどのような影響を及ぼしている</p>	祝 優 雄

順	質 問 事 項	質 問 者
5	<p>のか数値で示していただきたい。貨物輸送も建設資材の輸送も石油製品の運搬も生活航路であり、佐渡汽船の小木航路の維持に行政が負担するのであれば他の航路の負担も実施すべきと考える。特に、石油製品を全国平均の価格に近づけることが島民から求められており、政治課題でもある。現状と対策を聞かせていただきたい</p> <p>(3) 6月1日から道路交通法が改正され、駐車違反の取締りの民間委託と、放置車両を発見すると駐車時間の長短にかかわらず、違反の確認標章を取り付けることとされたため、商店街から車と人が消え、営業が出来ないとうめき声が聞こえてくる。特に、佐渡汽船周辺では慢性的な駐車場不足とあって混乱は深刻である。</p> <p>駐車違反对策は対策として、市として放置できない状況だ。地元商店街が歯を食いしばって努力をしているとき、最悪の法改正といわなければならない。市と警察と地元で協議を持ち改善策が必要だが、市の考えを聞かせていただきたい</p> <p>3 行政改革について</p> <p>○ 5万人を超える市では全国一の高齢人口を有していると思われるが、今後の課題は既存の集落が機能するのかに係っているといても過言でなく、700を超える行政区（集落）で高齢人口が40%を超える行政区（集落）が152あり、50%を超える行政区は99ある。50%を超える高齢人口の集落は、集落としての機能を維持することが難しく、生活者の安全安心の確保も難しくなっている。今後行政運営に支障を来してくることは確実である。市として生活者を基点とする解決策を具体的に説明願いたい</p>	祝 優 雄
6	<p>1 市の行政改革大綱から</p> <p>(1) 効果的・効率的行財政運営とは（具体例）</p> <p>(2) 新たな人事管理制度の構築とは（具体例）</p> <p>(3) 市の人材育成事業とはどんなものか（職員研修や民間人材育成の現状）</p> <p>2 地域審議会の問題点とその対策</p> <p>(1) これまでの諮問事項と、どんな答申があったのか</p> <p>(2) 今後の運営方針は（現状で継続か。人員数・任期・回数・諮問事項等）</p> <p>(3) 建設計画の重要度：A. B. C. D. Eランク付け担保度は</p> <p>(4) 歴代の首長、議長等の肖像画や絵画等はどうするのか</p> <p>3 障害者自立支援法と就業支援への対応は</p> <p>○ 佐渡市の雇用状況、就業支援・雇用支援の現状と今後の計画</p> <p>4 国民保護法とガメラレーダーについて</p> <p>(1) FPS-XX（ガメラ）配備の背景は</p> <p>(2) 国民保護法との関連は</p> <p>(3) 佐渡配備への事前打診の有無と見返りは何か</p> <p>(4) 県議会での議論の有無と結果</p>	村 川 四 郎

順	質 問 事 項	質 問 者
6	(5) 市議会への事前相談無視の理由 5 教育基本法から、愛国心・国を愛する心への見解を問う (1) 国旗掲揚と愛国心・君が代斉唱についての見解は (2) 佐渡市独自の教育方針の設置が必要と考えるが	村川四郎
7	1 主要地方道佐渡一周線の整備促進について (1) 佐渡一周線沿線の急傾斜地崩壊区域について ① 危険箇所は何箇所か ② 危険箇所の防災対策は (2) 通称海府線（戸地～戸中間）の迂回路新設について (3) 佐渡縦貫線（入川～両津間）のトンネル化について 2 広域基幹林道大佐渡北線の整備促進について (1) 林道敷地の所有権移転登記は (2) 開設後の林道の維持管理と完成年度について	池田寅一
8	1 少子化対策について (1) 佐渡市の出生率と市長の政策を問う (2) 少子化と男女共同参画社会の社会環境について ① 島内における育児休業法の実状と指導性について ② 若者の経済支援から、臨時職・パート労働者の格差縮小の考えについて問う ③ 家庭保育福祉員制度を導入する考えについて (3) 子育て支援施設の現況と今後の取組みについて (4) 不妊治療への助成効果と、今後の見通しについて 2 環境問題について (1) 市民へのエコアイランド意識高揚から、行政の最終処分場までの課題・問題点について ① ポイ捨て禁止条例制定の考え ② クリーンセンター等の施設清掃の実態 ③ 最終処分場の耐用年数と今後の計画 (2) リサイクルと中古電気機器安全販売（PSE）についての考え方を問う 3 街づくりの取組みについて (1) 市長の構想とオリジナル制を問う (2) 佐渡汽船周辺構想の計画と見通しについて (3) 公園・遊園地の管理状況を問う	本間千佳子
9	1 組織改革について (1) 合併協での整備計画と大きく食い違うのはなぜか (2) 本庁支所の役割分担及び指揮命令系統はどのようになっているか 2 新市建設計画（特例債事業）について ○ 地域審議会の答申、要望をどのように考えているのか	佐藤 孝

順	質 問 事 項	質 問 者
9	<p>3 指定管理者制度について</p> <p>(1) 今後の指定予定と指定から2か月過ぎた現状について</p> <p>(2) 施設の選定（売却、譲渡等）はできているのか</p> <p>4 ケーブルテレビの今後の運営方針について</p> <p>(1) 市内全戸加入を目指し加入負担金の特例措置は考えているのか</p> <p>(2) 2011年から地上デジタル化になるが、アナログでの送信はできないか</p> <p>5 交流事業及びイベント等について</p> <p>(1) 集客プロモーションパートナー都市協定を結んだが、予算等も含めどのような具体的な取組みをするのか</p> <p>(2) 既存のイベント等今後の取組みについて</p> <p>6 宅地造成について</p> <p>(1) 特別会計での造成地（真野地区）では残り1区画となったが、今後の造成計画はあるのか</p> <p>(2) 市が保有している遊休地等の宅地造成は考えているか</p>	佐藤 孝
10	<p>1 相川火災について</p> <p>(1) 火災発生から放水までの時間はどのくらいであったか</p> <p>(2) 町内火災発生時に地域支所職員がとるべき行動マニュアルはどうなっているのか</p> <p>(3) 地域防災自衛団等の結成状況はどうなっている現状か</p> <p>2 税収について</p> <p>(1) 平成17年度の不納欠損額から考えられる佐渡市の徴収体制の改革案はあるのか</p> <p>(2) 観光業者の滞納額はどのくらいか</p> <p>(3) 担当職員の守秘義務と縦割り行政の結果、滞納者に補助金を出しているということは絶対ないのか</p> <p>3 佐渡観光について</p> <p>(1) 佐渡における観光業者が現状を維持するために最低限必要と思われる年間の観光客数は、どのくらいと捉えているのか</p> <p>(2) 佐渡における観光業者が現状を維持するために最低限必要と思われる年間経済効果は、どのくらいと捉えているのか</p> <p>(3) そうそうたるメンバーで組織された観光事業である「佐渡情話」は、結局どうなったのか</p> <p>(4) これまでの佐渡観光の体質を変えるためにまずやらなければならないことは何か</p> <p>4 補助事業について</p> <p>(1) 補助事業で事務局が行政内においてあるものは、今後外部に出すのか出さないのか</p> <p>(2) これまで各支所で取り組んでいた事業は、本庁に人員が吸い取られ運営</p>	廣瀬 擁

順	質 問 事 項	質 問 者
10	<p>が難しくなっている。人員を散々吸い上げた本庁が多く職員を使っ て金井大祭を行っているが、それで良いと考えているのか</p> <p>(3) 補助事業における費用対象経費は選定されているのか</p> <p>5 時間外手当について</p> <p>(1) 平成17年度で最も時間外手当を要した職員は何時間か</p> <p>(2) 平成17年度で最も時間外手当を要した職員はどの部署か</p> <p>(3) 平成17年度で最も時間外手当を要した職員が仕事をした結果、どのよう な行政サービスが住民に与えられたのか</p>	廣瀬 擁
11	<p>1 市長の政治姿勢について</p> <p>○ 議会での発言について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社協の支所長の件はどうなったか</li> </ul> <p>2 行政改革と意識改革について</p> <p>(1) 機構について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 部長制について</li> <li>② 支所のあり方について</li> </ul> <p>(2) 行革について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 職員の数について</li> <li>② 退職職員の再就職について</li> </ul> <p>(3) 意識改革について</p> <p>3 文化財の保護について</p> <p>○ 保管に対する補助金について</p> <p>4 バイオ・ディーゼル燃料（BDF）について</p> <p>(1) 経過はどうか</p> <p>(2) 今後の取組みについて</p>	金光英晴
12	<p>◎ 佐渡市の遠隔・辺地対策について</p> <p>(1) 農業行政について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 品目横断的経営安定化対策等、19年度から大きく変化する農業政策 を、どのように各地域の農業者に周知・認識させ、特に危機的状況にあ る中山間地各集落をどう指導するのか</li> <li>② 小佐渡東部における耕作放棄田を、トキ放鳥後の餌場としてビオトー プ等にしようとする地域が少しずつ増えつつあるが、各集落独自で対応 している。国・県・佐渡市としての具体的な支援策はあるのか</li> </ul> <p>(2) ごみ対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 両津地区東部に配布された、ごみ収集カレンダーの記載ミスについて</li> <li>② 毎月5日の「ノー・レジ袋デー」について、市はどのように量販店・ 小売業者に指導しているのか</li> <li>③ ペットボトル・白トレイ等、資源ごみ回収の地域格差について</li> <li>④ 合併時に佐渡市全世帯に配布された買物バックの利用率を、市は追跡 調査をしているのか</li> </ul>	大石惣一郎

順	質 問 事 項	質 問 者
12	<p>(3) 教育行政について</p> <p>① 佐渡市学校教育環境整備検討委員会の答申、市の具体策をいつ市民に公表するのか</p> <p>② 学区の見直し、再編の具体策はできているのか</p> <p>③ 佐渡市に現在廃校舎は、何校あるのか。また利用状況は。今後、統合で増え続ける廃校舎の利活用策はあるのか</p> <p>(4) 住民生活基盤について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 佐渡市に多くあると思える限界集落の市対策案はあるのか</li> </ul>	大石惣一郎
13	<p>1 少子化対策、人口減対策について問う</p> <p>(1) 少子化対策の方法として、結婚相談員制、全国で実施していない出産費の無料化に取り組む考えはないか</p> <p>(2) 東京都内の区では人口減対策に都市回帰の推進に補助金を交付している区があるが、佐渡市でもUターン、Iターン者に補助金制度を実施する考えはないか</p> <p>2 国民年金の申請免除が社会問題になっているが、佐渡市の現況について問う</p> <p>(1) 国民年金加入者数</p> <p>(2) 国民年金未納者数</p> <p>(3) 国民年金申請免除者数</p> <p>3 佐渡市の景観保全を考えると市庁用車（特にマイクロ等）、市営住宅等公共施設の色の統一を検討する考えはないか</p> <p>4 農政事業について</p> <p>(1) 計画が進展しない国営事業の推進状況について</p> <p>(2) 平成18年度生産数量、作付面積配分状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 昨年、予算化して希望者がいなかった特別栽培米の作付者は確保できたのか</li> </ul> <p>(3) 平成19年度より導入される「品目横断的安定対策」について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 認定農業者の育成目標、集落営農組織目標等が考えられるが、この事業は佐渡農業の実情に合わないと思われる。佐渡農業の将来を考えた特区制度の導入が考えられないか</li> </ul> <p>5 教育行政について</p> <p>(1) 昨年12月議会で質問した入学式、卒業式での式辞でビデオ、DVDの使用を検討するとの答弁であったが、本年実施されなかった理由は。教育委員会で検討したのであれば会議の状況を問う</p> <p>(2) 教育の現場では、不登校、虐待、誘拐等大きな社会問題になっている。子どもと一般市民とのあいさつの方法等がうまく行われていない状況ではないか。登下校時のパトロール等実施されているが、それだけでは解決できない状況ではないか。教育委員会としての対応はあるのか</p>	島倉武昭



順	質 問 事 項	質 問 者
13	<p>(3) 学校行事（体育祭、屋外活動）等で、教職員と一般人の区別ができない。市職員同様、教職員にも屋外活動には職員と一目でわかる作業着（体育着）の貸与はできないか</p> <p>(4) テレビ、新聞ではよく田植え体験等のニュースが出るが、島内の学校では体験実習等を行っている学校があるか</p>	島倉武昭
14	<p>1 妙見山頂への弾道弾ミサイル迎撃レーダーの配備について</p> <p>(1) 防衛庁には、妙見山頂に弾道弾ミサイル迎撃レーダーを配備する計画があり、佐渡市へはその事前説明がなされているのに、市長はなぜ市民に知らせなかったのか</p> <p>(2) この計画に対して佐渡市としては島民生活の安全を確保する立場より、施設の設置を断ることが必要と考えるが</p> <p>(3) 配備区域は、国定公園区域であり、環境アセスメントが当然と考えるが実施されているか。承知しているか</p> <p>(4) 施設が設置されると、近くを通る観光道路である大佐渡スカイラインでは軍事演習等で通行に支障が出ることも考えられるが、観光への影響は心配ないか</p> <p>2 廃棄物処分について</p> <p>(1) 真野グリーンパークにおけるダイオキシンについて</p> <p>① この施設でのダイオキシン問題では、佐渡市と住民との間で協定が結ばれ、ダイオキシン等を検出したときは直ちに周辺住民に周知する約束になっているが、市はそのことを怠ったのではないか</p> <p>② 検出されたダイオキシンは、旧施設の残土から出ているものと考えますが、今どのような調査をしているのか</p> <p>③ ダイオキシン防止のため、残土の除去、施設の改善等の対策が必要と考えるが、市は今後どのような対策をとっていく考えか明らかにされたい</p> <p>(2) 島内の旧廃棄物処分場の状況について</p> <p>① 佐渡は環境の島を宣言しているが、環境汚染は広く進んでいる現状である。島内で最終処分された最終処分場の跡地はどこにあり、現在はどのようなになっているか明らかにされたい</p> <p>② 旧焼却施設の焼却灰はどこにどのように処理されており、現在はどのようなになっているか明らかにされたい</p> <p>(3) 二宮産廃問題について</p> <p>① 5年間という長い期間、もめにもめてきた二宮産廃問題は、関係集落間での搬入出路の合意で解決が図られた。最後の産廃業者と住民との間の協定が進んでいないと聞くが、市は積極的に中に入って解決する責任があるが、市の努力の結果、現在どのような状況にあるのか問う</p>	小杉邦男

順	質 問 事 項	質 問 者
14	<p>② 佐渡市は、二宮産廃問題の反省に立って、今後二度とこのようなトラブルを起こさないように、産廃施設建設にかかわる手続きの条例等を作る必要があるが、どうか</p> <p>3 アスベスト問題について</p> <p>(1) アスベスト被害の状況が大きな社会問題となっているが、島内のアスベスト使用建造物のその後の調査現況を明らかにされたい</p> <p>(2) 時を追って、アスベストによる中皮腫罹患が増加しているが、島内でアスベスト労災認定申請の状況、アスベストによる健康相談の事例はどのくらいあるか。市は引き続きどのような対策をとっていく考えか</p> <p>4 観光政策について</p> <p>(1) 佐渡は今、大変な観光不振に陥っているが、その原因をどのように捉え、今後どのような対策をとっていく考えか問う</p> <p>(2) 合併時に島作りの方向として、特に相川は観光振興を図る地域と位置付けられましたが、市街地はとても観光地といえる状況ではない。相川の地での取組みは、島内観光に与える影響は大きいものとするが、市のこの地域での観光政策を問う</p>	小杉 邦男
15	<p>1 郵便局の外務事務を最終的に両津郵便局に統合する計画について</p> <p>○ 日本郵政公社が2007年の郵政民営化に向け、郵便物の収集・区分と配達業務を行う郵便局の再編を計画していることが明らかになった。過疎地の郵便局を中心に集配業務を廃止する動きに、「地域密着のサービスが低下するのではないか」との不安が広がっているが緊急対応について</p> <p>2 地域包括支援センター事業に使用する車両の駐車許可について</p> <p>○ 介護保険法の改正により、4月から創設された地域包括支援センターの業務車両に駐車禁止除外の標章が交付されていない問題で、これまでの在宅介護支援センター車両と同様に交付されることになったが、この間の市の対応について</p> <p>3 小・中学校、保育園統廃合計画について</p> <p>(1) 小・中学校統廃合計画の考え方と原案について</p> <p>(2) 保育園統廃合計画の考え方と原案について</p> <p>4 学校給食について</p> <p>○ 小・中学校の学校給食を自校調理方式から、共同調理方式「センター方式」を原則とする考え方と原案について</p> <p>5 小・中学校施設の耐震診断や耐震化について</p> <p>(1) 進捗状況について</p> <p>(2) 耐震化の促進について</p> <p>6 新市建設計画の見直しと地域審議会について</p>	中村 良夫

順	質 問 事 項	質 問 者
15	<p>(1) 今回の新市建設計画見直しは、大幅な変更であり、市は市民への説明責任がある。見直しだと言っている中身を市民にどのように知らせ、説明するのか</p> <p>(2) 旧市町村の保育園・学校統廃合等は地域にとって重要な公共施設の変更であり、当然のことながら地域審議会に諮って意見を求めるべきである</p>	中村良夫
16	<p>1 新型地上レーダー配備について</p> <p>(1) 配備の目的・時期・性能・背景</p> <p>(2) 佐渡市民に対する影響と対策（配備による隊員の増減含む）</p> <p>2 農業振興策について</p> <p>(1) 戦後の日本農政に対する見解</p> <p>(2) 品目横断的安定対策の内容と佐渡での動向</p> <p>(3) 佐渡米のPR、佐渡の農産物輸出、花粉症緩和米導入の動向</p> <p>(4) BL米食味に対する見解</p>	近藤和義